

学びの羅針盤

高柳小学校
令和3年
1月吉日発行
研修主任

あいさつは 心の架け橋（こころのかけはし）

明けましておめでとうございます。新年になりました。家族や親戚、近所の方々と新年のごあいさつを交わしたところかと思えます。今年は、大勢が一堂に会すことがかなわなかったので、電話等でのあいさつも多かったかもしれません。

新年のみならず、あいさつは、ぜひ身につけたい基本的な生活習慣のひとつです。今年度の児童のみなさんの学校生活調査では、「進んであいさつしている」と回答した人は、74%にもなりました。これは、同じ時期の昨年度の回答を10%以上上まわりました。「だいたいしている」人を含めると、98%にもなりました。こちらも10%近く上回り、**高柳小学校のお友達は、あいさつが出来る人が増えている**ことが分かります。

すでにみなさんは、すてきなあいさつをするために、次の4つのことを心がけています。

あ…あかるく、相手の方を見て、（元気に）
い…いつでも、どこでも、だれに対しても
さ…さきに（相手より先に）
つ…つづけて一言、（これから）続けて、つたわるように、



これらのことを、意識して取り組んできました。皆さん一人ひとりが、自分のあいさつの目標をもって、取り組むことができました。元気よく、進んであいさつをしてくれる人が増えました。

あいさつを交わせると嬉しいですね。**元気をもらえます**。ということは、自分のあいさつは、**相手を元気にしている**ことだと思います。あいさつできると、ハッピーなことがたくさんあります。

- ・ 相手から元気をもらえる。
- ・ 相手を元気にできる。
- ・ 感謝の気持ちを表す。
- ・ 相手を認める。大切に思う。
- ・ 仲良く(親しく)なるきっかけになる。
- ・ 友達(人)を差別しない。(平らな心の表れ) … など



これからも、すてきなあいさつを続けていきたいですね。習慣になるようにしていきたいですね。

まとめ あいさつすると、相手も自分も幸せになれる。

<おうちの方へ>

あいさつは、大切な生活習慣の一つです。ご家庭でも、「おはよう。」「おはよう。」「行ってらっしゃい。」「行ってきます。」「ただいま」「お帰り」「いただきます」「ごちそうまでした」などのあいさつが交わされていることが大切と言われます。あいさつによる声かけにより、子供が自分の存在を認められたことによる安心感があります。安心感は、成長の基盤になることと思います。